

おいしいだ

議会だより

No. 117

2008/7

発行／山形県大石田町議会

発行責任者／議長 大山 二郎

編集／広報特別委員会・〒999-4112 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111



夏本番（ふたば保育園）

第2回定例会

6/4～5

2P 補正予算・条例の審議

4P 町政を問う（3議員の一般質問）

7P 行政調査レポート

8P 議会を傍聴して

この広報紙は再生紙を使用しています

議会を傍聴して

このたび、町議会を傍聴するのは初めてでした。一般質問で3人の議員が質問されました。

①後期高齢者医療制度について。

②学校整備と町づくりについて。

③県では「市町村合併推進構想」を策定している。合併新法は平成22年3月までとなつていくが、町長の考えはどうか。

④コメを増産しなければならぬ時代がきているのではないか。

⑤国保税の税率の改正は適切な時期にやるべきではないか。

質問する議員、答弁する町側等白熱する場面もあり、一進一退の攻防が見られました。大石田町は自立の道を選択して今日にいたつています。行政と住民、地域の役割分担を明確

にした協働の町づくりが重要だと思つています。また、若者の定住促進について、企業の誘致活動を議員から積極的に働きかけてもらいたい。待つていたって工場はないので是非がんばつてもらいたい。

最後に、これからも町議会に期待していますので傍聴してみたいです。がんばってください。

(S・H)



答弁に立つ黒沼農業委員会会長

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は

9月9日(火)

～19日(金)

の予定です。

お気軽においでください。

お問い合わせ先

大石田町議会事務局

☎35-2111 内線312 FAX 35-2118



第25回県町村議会広報研修会が5月30日、山形市の国際交流プラザで講師に城市創氏を招き開催され町議会広報特別委員会委員が参加しました。午前中の講義では、「議会だより」編集のポイントを中心に学び、議会だよりの発行意義や何のため、何を住民に伝えるのかなど、読者の立場にたった編集のノウハウを

研修してきました。午後からの紙面クリニックでは、6町村の議会だよりで実践的な編集のアドバイスを受け、講師の厳しい指摘に納得させられました。

この研修会は、「議会だより」のレベルアップを目的に、山形県町村議会議長会が主催し、毎年開催されているものです。

(記 芳賀)

町村議会広報研修会に出席して

編集後記

昨今の社会情勢をみると特権乱用、偽装問題、殺人と本当に平和国家日本でしょうか、というような奇異な事件が続いております。それは今までの右肩上りですべてに恵まれた日本社会が今や大きな財政赤字を背負うことになり、負担も年々、いや毎日毎日多くなつて来ているので、社会が大きくさまざなりする中で信頼関係が希薄になり、意欲や夢がなくなつた為ではないでしょうか。

この様な社会の中で私達政治を預かる者はあらためて「政治は何ぞや」と考えて、町民の福祉と生活向上に寄与する為に信頼される政治家を目指し頑張らなければと思つております。

(記 齋藤)

■ 広報特別委員会 ■
委員長 芳賀 清
副委員長 小林 征雄
委員 小玉 勇
委員 村岡 藤弥
委員 齋藤 公一